

首都圏高齢者 釧路で避暑

今夏、首都圏で電力不足が懸念されていることを受け、高齢者向け旅行サービスを展開する東京の旅行業者が、首都圏の高齢者を対象とする釧路での長期滞在商品の販売を今月下旬にも開始する。猛暑の昨夏は熱中症で死亡する高齢者が相次いだだけに、涼しさが売り物の釧路で夏を乗り切ってもらおうと企画した。

(鄭真)

東京の滞在商品発売へ 旅行会社

企画したのは要介護の高齢者らの外出支援事業などを手がけるエス・ピー・アイ(東京、篠塚恭一社長)。首都圏の節電に貢献しても政府が今夏、企業や家庭に「らおう」と募集期間を7-

9月の3カ月間内の2週間に設定した。2人1室のホテル料金を2千円台から5千円台とし滞在中は釧路で自由に通してもらおう。

福島第一原発事故に伴う今夏の電力不足で首都圏では節電対策が急務となるなか、篠塚社長は「高齢者が冷房の使用自粛をすれば命の危険にさらされる」と避暑目的の旅行商品の必要性を痛感。夏も涼しく医療機関も充実した釧路の特性を知り、「高齢者に最適」と判断した。

篠塚社長は13日、視察のため釧路を訪問、滞在中の高齢者が利用できる健康施設などを見て回った。「高齢の方は従来の観光ではなく、生活を体験したいという気持ち強い。地元の人しか行かない飲食店や生涯学習、ボランティア活動の参加方法などを滞在情報として提供していきたい」と話している。

節電に貢献 涼しく医療機関も充実

釧路市内の健康増進施設を視察する篠塚社長(中央)

